令和2年度	も	の	づ	く	り	人	材	育	成	研	修

山梨県産業技術センターでは、本県の製造業における高度技術者の育成を支援するため、広範囲な技術分野について基礎から応用まで学ぶことができる「ものづくり人材育成研修」を実施いたします。

研修内容・日程等の詳細は、2ページ以降をご参照ください。

当センターのホームページ(https://pref.yamanashi.jp/yitc/)にも掲載しております。

多数のご参加をお待ちしております。

申し込みについて

・5ページ以降の「申込み方法」に従い、「やまなしくらしねっと山梨県電子申請サービス」(Web申請)からお申込み下さい。
　※ 当該サービスの利用におけるトラブルは、コールセンターへお問い合わせください。
　　(固定電話:0120-464-119 [フリーダイヤル] 、携帯電話:0570-041-001 [有料])

・申込みは各講座ごとの手続きが必要です。
　※ 複数講座を申し込む場合は、あらかじめ利用者登録を行うと法人名など一部の入力を省略でき、便利です。(「申込方法」をご参照ください)

・申込締切は、開催日(開催時刻)の一営業日前とします。

・定員を超えた場合は、申込受付が終了となりますので、ご了承ください。

・申し込みにおいて不明な点や困った場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受講料

・座学の講座は、無料です。

・実習を行う講座(☆印)の受講料は、3,000円です。

・有料の講座(☆印)を受講した場合の支払いは納入通知書による納付となります。
　納入通知書は、全ての講座終了後に郵送します。(12月末～1月頃を予定)

会場に関する注意事項

・会場は、講座によって異なり「甲府技術支援センター」と「富士技術支援センター」があります

新型コロナウイルス感染拡大防止対策についてのお願い

・研修の開催にあたりまして、受講者の健康と安全を最優先とし、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底いたします。

・受講者全員の方が、マスクの着用をお願いいたします。

・事前に体温の測定をお願いいたします。健康状態に不安がある場合、受講をご遠慮下さい。

＜ お問い合わせ先 ＞

山梨県産業技術センター　企画連携推進部　企画・情報科　山田、宮川、佐藤
(〒400-0055　甲府市大津町2094　TEL:055-243-6111　FAX:055-243-6110)

≪甲府会場≫ （場所：甲府技術支援センター（甲府市大津町2094））

番号・会場	講座・講師	開催日	内　容	定　員	QRコード
①-A （甲府）	菓子製造における HACCP導入のポイント	9月8日（火） 15:00～16:30	食品製造におけるHACCPの導入について、特に基準B（HACCPの考え方に基づく衛生管理）のポイントについて解説します。 対象：菓子製造者、味噌製造者、しょうゆ製造者 ※対象業種により2コース（①-A、①-B）を設定しています。	座学 26名	
①-B （甲府）	味噌醤油製造における HACCP導入のポイント 中央海産（株） 社内ベンチャー起業準備室 ガレージラボ COO （一社）日本HACCPトレーニングセンター 山梨県エリアオフィサー 高松 正典　氏	9月9日（水） 14:00～15:30		座学 26名	
② （甲府）	テレワークや社内で簡単に活用できる WEB会議入門 センター職員	9月15日（火） 13:30～16:00	WEB会議で広く利用されているアプリケーション（Cisco Webex 、Zoom等を予定）のインストールからはじまり、会議への参加、会議の開催設定、画面共有等を参加者の間で体験して学びます。未経験者を対象とした講座になります。 ※1　スマートフォンの持参をお願いします。（携帯大手3社の通信環境を推奨） ※2　受講により発生する通信料は参加者負担となります。本研修により500MB程度を使用します。 ※3　会場で確認できるメールアカウントを事前にご用意ください。（gmail等のWEBメールを推奨）	実習 5名 （無料） ただし、左記の※印をご参照ください	
③ （甲府）	デフォルメ3Dモデルの作成法 ～Zbrushを利用した 3Dスキャンデータの活用～ センター職員	9月24(木） 13:30～15:30	宝飾品をデザインするために3Dスキャナで取得した3DデータをZbrushを使ってデフォルメする手順を解説します。 ・宝飾品におけるデフォルメ研究の概要説明 ・3Dスキャナの実演 ・Zbrushの使用方法解説 ・デフォルメの実演	座学 （実演） 10名	
④ （甲府）	機械設計図面を正しく解釈するための 幾何公差 （甲府会場） 客員研究員　中村哲夫	10月13日（火） 13:00～17:00	幾何公差方式は設計者の意図を製造者に伝える重要なツールです。 本研修では、データム系の概念や平面度、直角度、真円度などの各幾何公差について、初めて学ぶ方にもわかりやすく解説します。	座学 26名	
⑤ （甲府）	Node-Redを活用した IoTシステム開発入門 客員研究員　壱圓　慶	10月21日（水） 13:30～16:00	Node-Redは、WEB環境さえあれば誰でも利用できる、オープンソースのプログラミングツールです。特別な知識を必要とせず、ビジュアルによる直感的な開発が可能です。簡単なIoTシステムの開発を例に、Node-Redの活用について体験していきます。	実習 5名 ☆ 3,000円	
⑥ （甲府）	鉄鋼および非鉄金属材料の基礎知識 岐阜大学スマート金型技術研究センター 特任教授　土屋能成　氏	10月26日（月） 13:30～16:30	鉄鋼やアルミニウム、銅など様々な金属材料がございます。このような機械や構造体を形作る金属材料について、成分状態により異なる合金系の説明をするとともに、熱処理を行うことで組織が変わり、その組織状態によって機械的特性が大きく変化する仕組みについて説明します。またJIS規格の読み方や熱処理におけるひずみ発生の考え方、更に表面処理による金型寿命の向上事例などについても併せて説明します。	座学 26名	

令和2年度 ものづくり人材育成研修

≪甲府会場≫ （場所：甲府技術支援センター（甲府市大津町2094））

番号・会場	講座・講師	開催日	内　容	定　員	QRコード
⑦ （甲府）	めっきの基礎実習 センター職員	10月29日（木） （1～3人の場合） 14:00～16:00 （4人場合） 1班：10:00～12:00 2班：14:00～16:00	めっきの原理や目的、用途および工程を学びます。実際にめっきをつける実習を通して理解を深めることができます。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、受講者4人の場合は2班に分けます。	実習 4名 ☆ 3,000円	
⑧ （甲府）	ノギス・マイクロメータの基礎 センター職員	11月10日（火） 13:30～17:00	製造現場において、ノギスとマイクロメータは欠かすことのできない測定器具です。本研修では、ノギスとマイクロメータの原理・測定・校正・保管方法などに関する説明、また測定実習をとおした誤差要因などに関する検証を行います。	実習 10名 ☆ 3,000円	
⑨-A （甲府）	アレルギー表示を中心とした食品表示について 客員研究員　蒲生恵美	11月13日（金） 10:00～12:00	加工食品におけるアレルギー表示は、令和2年3月末で経過措置が終了し義務化されていますが、経過措置期間内も、品目の追加や、変更の検討が行われています。本講義では、アレルギー表示の最近の動きについて、事例を交え解説します。	座学 26名	
⑨-B （甲府）		11月13日（金） 14:00～16:00	※同じ内容の講座を2回開催します。 ご希望の時間帯の講座（⑨-A、⑨-B）を選択ください。 ※講師にはリモートで講演いただく予定です。	座学 26名	
⑩ （甲府）	表面粗さ測定の基礎 （株）小坂研究所	11月19日（木） 13:30～16:00	表面粗さ測定の原理から、測定方法について基礎から学びます。また、図面指示の解釈の仕方など、JISに基づいた評価方法や粗さパラメータについてわかりやすく解説いたします。	座学 26名	
⑪ （甲府）	蛍光X線分析の原理とアプリケーション （株）日立ハイテクサイエンス 土屋恒治　氏	11月27日（金） 13:30～15:30	蛍光X線分析について、原理やアプリケーションを中心に、データの見方の注意点や測定のコツなどを交えて解説します。 ※講師にはリモートで講演いただく予定です。	座学 10名	
⑫ （甲府）	X線回折による材料評価 （株）リガク X線機器事業部　応用技術センター 白又勇士　氏 根津暁充　氏	12月3日（木） 13:30～16:30	X線回折を用いた各種分析手法について、わかりやすく解説します。 ※講師にはリモートで講演いただく予定です。	座学 26名	
⑬ （甲府）	測定実習で深める幾何公差の理解 客員研究員　中村哲夫 センター職員	12月17日（木） 13:00～17:00	各測定手法（定盤を基準とした測定・三次元測定機など）を用いた測定実習をとおし、平面度・直角度・振れなど各幾何公差の意味合いについて学ぶとともに理解を深めていただきます。	実習 5名 ☆ 3,000円	

≪富士吉田会場開催≫　（場所：富士技術支援センター（富士吉田市下吉田6-16-2））

番号・会場	講座・講師	開催日	内　容	定　員	QRコード
⑭ （富士）	コロナ後の市場とものづくり① 客員研究員　家安香	8月21日（金） 13:30～15:30	本県織物産業関係者を対象に、コロナ禍を経た市場と業界の変化を探り、新しい時代の消費者のニーズや、製造・流通の在り方について考え、製品開発に生かすための勉強会を実施します。	座学 10名	
⑮ （富士）	コロナ後の市場とものづくり② 客員研究員　家安香	調整中	本県織物産業関係者を対象に、コロナ禍を経た市場と業界の変化を探り、新しい時代の消費者のニーズや、製造・流通の在り方について考え、製品開発に生かすための勉強会を実施します。	座学 10名	お手数ですが1ページ記載の〈お問い合わせ先〉までご連絡ください。
⑯ （富士）	表面粗さ測定の基礎 東京都立産業技術高等専門学校 名誉教授　深津拡也　氏 センター職員	9月17日（木） 13:30～15:30	製品の評価に用いられている表面粗さ測定について、粗さ測定機の原理、JIS B0601による2次元表面性状パラメータ、およびJIS B0681による3次元表面性状パラメータの意味について学びます。	座学 12名	
⑰ （富士）	非破壊で行う元素分析の基礎 センター職員	10月8日（木） 10:00～12:00	材質判別や異物発生原因調査の際には試料を非破壊で分析できる機器が有効です。非破壊で元素分析を行うことができる代表的な機器のSEM/EDS（電子顕微鏡/エネルギー分散型X線分析装置）とWDX（波長分散型蛍光X線分析装置）について、原理を解説します。	座学 12名	
⑱ （富士）	非破壊で行う元素分析の実習 センター職員	10月8日（木） 13:00～16:00	SEM/EDS（電子顕微鏡/エネルギー分散型X線分析装置）とWDX（波長分散型蛍光X線分析装置）による元素分析の実習です。午前の座学⑰を聴講していただくと理解が深まります。	実習 6名 （無料）	
⑲ （富士）	機械設計図面を正しく解釈するための幾何公差 （富士吉田会場） 客員研究員　中村哲夫	12月10日（木） 13:00～17:00	幾何公差方式は設計者の意図を製造者に伝える重要なツールです。 本研修では、データム系の概念や平面度、直角度、真円度などの各幾何公差について、初めて学ぶ方にもわかりやすく解説します。	座学 12名	

令和2年度	も	の	づ	く	り	人	材	育	成	研	修

申込み方法

1. アクセス方法

① URL から電子申請サービスページへアクセス（https://s-kantan.jp/pref-yamanashi-u/）

② 手続き一覧から｢令和 2 年度ものづくり人材育成研修（希望講座名）｣をクリック

※見つからない場合検索フォームから“ものづくり”で検索

※スマートフォンの場合は、案内記載の QR コードから講座ページへ直接アクセス可能

画像は仮です。差し替えます。

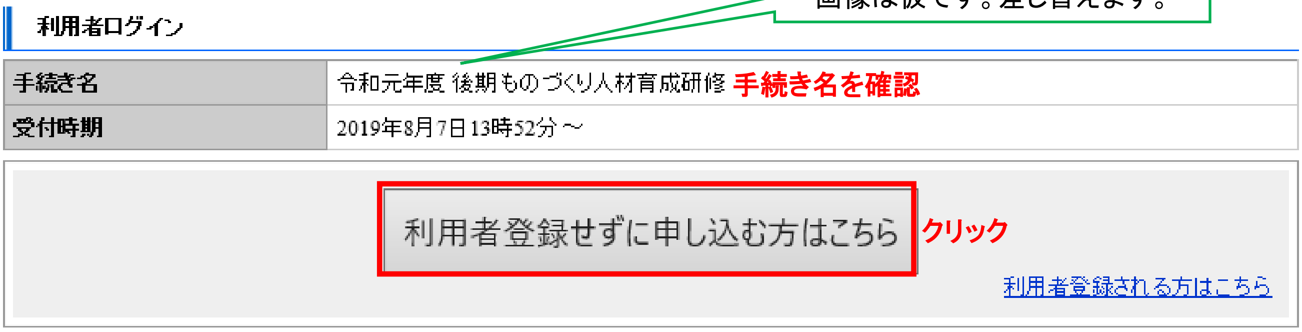
2. 手続き名を確認し、A または B のいずれかの方法を選択（※ 複数講座受講の場合は B が便利です）

A. 利用者登録しない場合

・｢利用者登録せずに申し込む方はこちら｣をクリック。

・3 へ進み、申込みを続ける

画像は仮です。差し替えます。



B.　利用者登録する場合

- 「利用者登録される方はこちら」をクリックし、次ページで「同意する」をクリック（図Ⅰ）
- 法人を選択し、申請者（本人）のメールアドレスを入力後、「登録する」をクリック（図Ⅱ）
- 受信メールに記載の URL へアクセスし、詳細情報を入力して登録（図Ⅲ）
- 再度、講座ページへアクセスし、利用者 ID・パスワードを入力してログイン（図Ⅳ）
- 3 へ進み、申込みを続ける

画像は仮です。差し替えます。

図Ⅰ　利用者ログイン

手続き名	令和元年度 後期ものづくり人材育成研修
受付時期	2019年8月7日13時52分 ～

利用者登録せずに申し込む方はこちら

クリック

利用者登録される方はこちら

図Ⅱ　メールアドレス入力(利用者登録)

利用者区分※	○個人 ◉法人 ○代理人　法人を選択
利用者ID(メールアドレス)※	test@〇〇.co.jp　申込み者本人のメールアドレスを入力
利用者ID(確認用)※	

図Ⅲ　利用者登録

必要事項を入力して登録

利用者区分	法人
利用者ID	test@〇〇.co.jp
パスワード※	パスワードは6～20文字、1種類以上の文字で入力してください。 使用可能文字は、英大文字、英小文字、数字、記号です。
パスワード(確認用)※	同じものをもう一度入力してください。
担当者名(フリガナ)※	片仮名で入力してください。 氏：　名：

図Ⅳ　既に利用者登録がお済みの方

再度「1.アクセス方法」の手順で講座ページへアクセスし、ID・パスワードを入力してログイン

利用者ID

パスワード

メールアドレスを変更した場合は、
ログイン後、利用者情報のメールアドレスを変更ください。

パスワードを忘れた場合はこちら

ログイン

3.　「同意する」をクリックし、申込みフォーム画面へ移動。

手続き説明

この手続きは連絡が取れるメールアドレスの入力が必要です。
下記の内容を必ずお読みください。

～

一覧へ戻る　同意する　クリック

4.　申込みフォーム画面へ必要事項を入力（※印の項目は入力必須）

■申込代表者の情報	
法人名※	
代表申請者※	氏：　名：
電話番号※	入力例）012-345-6789または 0123456789と入力
連絡先メールアドレス※	利用者の連絡先メールアドレスを入力してください。

この欄は全項目の入力が必須

■納入通知書送付先

※本講座は有料になります。講座受講後に、受講料支払い用の納入通知書を送付します（11月末～12月頃を予定）。送付先の情報入力をお願いします。
※利用者登録された方で、経理担当等を送付先とする場合、入力内容の修正をお願いします。

郵便番号※	入力例）400-0000は4000000と入力 住所検索
住所※	

有料講座の場合は「納入通知書送付先」欄の入力が必要

5.　必要事項を入力したら「確認へ進む」をクリック。

申込

～

確認へ進む　クリック

※入力中の申込データをパソコンに一時保存します。
申込データの一時保存

※一時保存した申込データを再度読み込みます。
一時保存した申込データの読込み

6. 入力内容を確認し、誤りがなければ「申込む」をクリック
*入力内容に不備がある場合は、自動的に修正ページへ移動します。

申込確認

∫

入力へ戻る　申込む　内容を確認し、クリック

7. 申込完了画面に"整理番号"と"パスワード"が表示され、申込完了通知メールが送信されます。
*申込完了通知メールの題名は、「【申込完了通知メール】やまなしくらしねっと」です。
*整理番号とパスワードは申込状況の確認に必要です。忘れないよう保管してください。

申込完了

令和元年度 後期ものづくり人材育成研修の手続きの申込を受付しました。

整理番号	317173508763	忘れないよう保管
パスワード	6EXC943g8L	

以上で、申込みは終了です。